

口腔病理学講座 (Department of Oral Pathology)

教育研究原著論文

1) 印刷公表

1. Tanaka M, Wato M, Tanaka A. The histological diversity of adenoid cystic carcinoma demonstrated by double immunohistochemistry for p16 and p63 gene products. *Oral Med Pathol* 2012 ; 16(1/2) : 9-13.
2. Noguchi M, Tominaga K, Tanaka A, Ueda M. Hard tissue formation induced by synthetic oligopeptide derived from an enamel matrix derivative. *Oral Med Pathol* 2012 ; 16(3/4) : 75-80. (科研費 基盤研究 (C) 20592442)
3. Yasui N, Taguchi Y, Tanaka A, Ueda M, Umeda M. Biological effects of Emdogain[®]-derived oligopeptides on rat bone marrow cells *in vitro*. *J Oral Tissue Engin* 2012 ; 9(3) : 126-135.
4. Fang YR, Suwa F, Uemura M, Wato M, Tanaka A. Cosmetic acupuncture for oriental medicine treatment. *J Osaka Dent Univ* 2012 ; 46(1) : 5-9.
5. 田口洋一郎, 高橋宰達, 富永和也, 小正 聡, 至田宗泰, 林 宏行, 田中昭男, 梅田 誠. ヒト培養歯根膜細胞の増殖, 接着, 遊走に及ぼすエナメルマトリックスデリバティブ誘導体由来の合成ペプチドの影響. *日本歯科保存学雑誌* 2012 ; 55(3) : 227-235.
6. Taguchi Y, Yasui N, Takahashi S, Tominaga K, Kato H, Komasa S, Shida M, Hayashi H, Tanaka A, Umeda M. Hard tissue formation by human periodontal ligament fibroblast cells treated with an Emdogain[®]-derived oligopeptide *in vitro*. *J Hard Tissue Biol* 2012 ; 21(4) : 375-384. (科研費 基盤研究 (C) 22592324, 大阪歯科大学口腔インプラント研究委託金 12-03)
7. Shida M, Taguchi Y, Kon-I H, Umeda M, Tanaka A, Hayashi H. Influence of neuropeptides on bacterial inflammation ; Influence of substance P on proinflammatory cytokine mRNA expression in LPS-stimulated human dental pulp-derived cells. *J Oral Tissue Engin* 2012 ; 10(1) : 21-27.
8. Imai K, Nakamura K^{*}, Tanoue A^{*}, Suese K, Nishikawa T, Tanaka A, Watanabe C^{*2}, Ohmukai H^{*2}, Takashima H^{*3}. Cell viability of mouse cells by exposure to the dental adhesives using cell recovery test with 3D culture. *J Oral Tissue Engin* 2012 ; 10(1) : 42-47. (科研費 基盤研究 (C) 22592202, 成育医療研究開発費 (22 指-6))
9. Imai K, Akasaka T^{*4}, Watari F^{*4}, Tanoue A^{*}, Nakamura K^{*}, Suese K, Takashima H^{*5}, Nishikawa T, Tanaka A, Takeda S. *In vitro* study of cell differentiation by two type mouse embryo stem cells on mono- and multi- layer nanocarbon tubes. *Appl Surf Sci* 2012 ; 258(22) : 8444-8447. (科研費 基盤研究 (C) 22592202, 成育医療研究開発費 (22 指-6))

10. Nishikawa T, Kokubu M, Kato H, Imai K, Tanaka A. Confocal laser scanning microscopy in study of bone calcification. *Appl Surf Sci* 2012 ; 262 : 64–68. (科研費 基盤研究 (C) 23592909)
11. Hayashi T, Wato M, Iseki T, Tanaka A, Morita S. Comparative expression profiles of keratins and apoptosis regulating proteins in keratocystic odontogenic tumor, orthokeratinized odontogenic cyst, and dentigerous cyst. *Oral Med Pathol* 2012 ; 16(3/4) : 67–73.

2) 学会発表

1. 嘉藤弘仁, 国分麻佑, 益野一哉, 富永和也, 和唐雅博, 西川哲成, 田中昭男. 口腔領域における転移性腫瘍の臨床的病理組織学的研究. 第532回大阪歯科学会例会 2012. 2. 11 枚方市.
2. 西川哲成, 益野一哉, 富永和也, 和唐雅博, 嘉藤弘仁, 国分麻佑, 今井弘一, 武田昭二, 田中昭男. 骨の増生へのサングの特性. ハイテク・リサーチ・センター整備事業「歯周病に対する戦略的研究」第2回研究成果報告会 2012. 4. 21 枚方市.
3. 富永和也, 野口三智子, 嘉藤弘仁, 国分麻佑, 岡村友玄, 田口洋一郎, 益野一哉, 和唐雅博, 西川哲成, 梅田 誠, 田中昭男. エナメルマトリックステリバティブ誘導体中に存在するアメリロジェニン・エクソン5の部分配列からなる新規合成ペプチドの作用. ハイテク・リサーチ・センター整備事業「歯周病に対する戦略的研究」第2回研究成果報告会 2012. 4. 21 枚方市. (科研費 基盤研究 (C) 20592442)
4. Tominaga K, Noguchi M, Kato H, Kokubu M, Fang YR, Umeda M, Tanaka A. Periodontal tissue regeneration in rats by novel bone-forming peptide. 2012 Sino-Japan Dental Conference 2012. 4. 27 Chengdu, China. (科研費 基盤研究 (C) 20592442)
5. Wato M, Chen Y*6, Kato H, Kokubu M, Masuno K, Tominaga K, Nishikawa T, Tanaka A. Application of triple-immunostaining method to the salivary gland tumors. 2012 Sino-Japan Dental Conference 2012. 4. 27 Chengdu, China.
6. 林 輝嘉, 和唐雅博, 辻 要, 松田彩起子, 松本和浩, 山田耕治, 吉田博昭, 田伏 信, 井関富雄, 田中昭男, 森田章介. 過去15年間の当科における歯原性腫瘍の臨床的検討. 第66回日本口腔科学会学術集会 2012. 5. 17 広島市.
7. 嘉藤弘仁, 片山暢仁, 奥田麻貴子, 田口洋一郎, 富永和也, 梅田 誠, 田中昭男. ヒト歯根膜由来幹細胞の免疫組織学的観察および骨芽細胞分化能の検討. 第55回春季日本歯周病学会学術大会 2012. 5. 18 札幌市.
8. 田口洋一郎, 小正 聡, 安井菜津希, 高橋宰達, 奥田麻貴子, 南堂百映, 田中昌博, 田中昭男, 梅田 誠. 新規ナノ構造を析出させたチタン表面への細胞の初期接着に与える影響. 第55回春季日本歯周病学会学術大会 2012. 5. 19 札幌市.
9. 田村 功, 和唐雅博, 田中昭男. チロホスチン AG1439 による EGFR リン酸化阻害がヒト頬粘膜癌細胞の細胞膜接着分子動態に及ぼす影響. 第36回日本頭頸部癌学会 2012. 6. 8 松江市.

10. Yoshida H, Tsuji K, Wato M, Tanaka A, Morita S. Ki-67 reactivity in synovial chondromatosis of the temporomandibular joint: An immunohistological study. 第25回日本顎関節学会総会・学術大会 2012. 7. 14 札幌市.
11. 方 一如, 鎌田愛子, 上村 守, 戸田伊紀, 竹村明道, 諏訪文彦, 田中昭男, 小正 裕, 川添堯彬. 歯科大学における東洋医学教育の展開. 第31回日本歯科医学教育学会総会および学術大会 2012. 7. 20 岡山市.
12. 富永和也, 西川哲成, 和唐雅博, 益野一哉, 岡村友玄, 国分麻佑, 嘉藤弘仁, 田中昭男. 学習効果の高い病理組織実習形態は何か?. 第23回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会 2012. 8. 31 東京.
13. 西川哲成, 益野一哉, 岡村友玄, 小野高尚, 今井弘一, 松本尚之, 武田昭二, 田中昭男. 骨増生を誘導する生体吸収性サンゴ. 第10回日本再生歯科医学会総会・学術大会 2012. 9. 2 神戸市. (科研費 基盤研究 (C) 22592909)
14. 今井弘一, 武田昭二, 中村和昭*, 田上昭人*, 西川哲成, 益野一哉, 田中昭男. 歯科用モノマーの発生毒性試験法における新しい3次元足場材料の活用. 第10回日本再生歯科医学会総会・学術大会 2012. 9. 2 神戸市. (科研費 基盤研究 (C) 22592202, 成育医療研究開発費 (22指-6))
15. 今井弘一, 武田昭二, 中村和昭*, 田上昭人*, 西川哲成, 益野一哉, 田中昭男. ハイブリッド3D培養による新しい *in vitro* 発生毒性試験システムの開発. 第10回日本再生歯科医学会総会・学術大会 2012. 9. 2 神戸市. (科研費 基盤研究 (C) 22592202, 成育医療研究開発費 (22指-6))
16. 益野一哉, 西川哲成, 嘉藤弘仁, 国分麻佑, 富永和也, 和唐雅博, 今井弘一, 田中昭男. 骨足場材料としてのカルシウム粒子に対する反応. 第10回日本再生歯科医学会総会・学術大会 2012. 9. 2 神戸市. (科研費 基盤研究 (C) 22592909)
17. 嘉藤弘仁, 片山暢仁, 奥田麻貴子, 富永和也, 田口洋一郎, 梅田 誠, 田中昭男. Emdogain®由来新規合成ペプチドによるヒト歯根膜由来幹細胞に対する効果について. 第55回秋季日本歯周病学会学術大会 2012. 9. 22 つくば市. (科研費 基盤研究 (C) 24593138)
18. 西川哲成. 骨の増生. 第6回日本再生歯科医学会シンポジウム 2012. 10. 7 帯広市. (科研費 基盤研究 (C) 23592909)
19. 今井弘一, 武田昭二, 中村和昭*, 田上昭人*, 西川哲成, 益野一哉, 田中昭男. ヒト肝細胞とマウス ES 細胞による *in vitro* 発生毒性試験法の開発-歯科用モノマーの検討-. 第6回日本再生歯科医学会シンポジウム 2012. 10. 7 帯広市. (科研費 基盤研究 (C) 23592909)
20. 益野一哉, 西川哲成, 岡村友玄, 今井弘一, 松本尚之, 武田昭二, 田中昭男. 新しく開発された多孔性カルシウム粒子の徐放性材料としての基礎的研究. 第6回日本再生歯科医学会シンポジウム 2012. 10. 7 帯広市. (科研費 基盤研究 (C) 22592202, 成育医療研究開発費 (22指-6))
21. 林 輝嘉, 和唐雅博, 辻 要, 松田彩起子, 井関富雄, 西川哲成, 田中昭男, 森田章介. 角化嚢胞性歯原性腫瘍, 嚢胞病変および顔面皮膚における Bcl-2 と Bax の発現. 第57回日本口腔外科学会総会・学術大会 2012. 10. 19 横浜市.

22. 方 一如, 諏訪文彦, 田中昭男, 川添堯彬. 歯科大学における東洋医学教育の展開. 第22回日本歯科医学会総会 2012. 11. 10 大阪市.
23. 和唐雅博, 嘉藤弘仁, 国分麻佑, 益野一哉, 富永和也, 西川哲成, 田中昭男. 免疫多重染色を用いた口腔疾患への応用. 第22回日本歯科医学会総会 2012. 11. 10 大阪市.
24. 富永和也, 野口三智子, 国分麻佑, 嘉藤弘仁, 岡村友玄, 益野一哉, 和唐雅博, 西川哲成, 梅田誠, 田中昭男. エナメル基質タンパク誘導体由来の合成ペプチドによる硬組織形成. 第22回日本歯科医学会総会 2012. 11. 10 大阪市. (科研費 基盤研究 (C) 20592442)
25. 西川哲成, 嘉藤弘仁, 国分麻佑, 益野一哉, 富永和也, 和唐雅博, 岡村友玄, 田中昭男. サングの骨増生への応用. 第22回日本歯科医学会総会 2012. 11. 10 大阪市. (科研費 基盤研究 (C) 23592909)

臨床症例報告

1) 印刷公表

1. 辻 要, 上原行博, 富永和也, 林 輝嘉, 井関富雄, 森田章介. 舌に発生した孤立性線維性腫瘍の1例. 日本口腔外科学会雑誌 2012; 58(3): 147-150.

2) 学会発表

1. 山根木康嗣^{*7}, 和唐雅博, 富永和也, 益野一哉, 国分麻佑, 嘉藤弘仁, 西川哲成, 田中昭男. エナメル上皮腫術後再発悪性転化を疑った症例. 第23回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会 2012. 8. 30 東京.
2. 西尾謙宏, 藤井智子, 窪 寛仁, 大西祐一, 室井遊里, 吉本 仁, 覚道健治, 富永和也. 下顎骨に発生した中心性歯原性線維腫の1例. 第57回日本口腔外科学会総会・学術大会 2012. 10. 19 横浜市.
3. 辻 要, 山田耕治, 吉田博昭, 井関富雄, 田中昭男, 森田章介. 口腔領域に発生した孤立性線維性腫瘍の2例. 第24回日本口腔科学会近畿地方部会 2012. 11. 17 大津市.

著書

1. 田中昭男. 共著. 口腔と全身の健康. 東京: 医歯薬出版 2012: 71-83.

* 独立行政法人国立成育医療センター研究所薬剤治療研究部

*2 (財) 食品薬品安全センター・秦野研

*3 (株) イナリサーチ

*4 北海道大学大学院歯学研究科口腔健康科学講座生体材料科学教室

*5 財団法人 食品薬品安全センター秦野研究所

*6 West China College of Stomatology, Sichuan University

*7 兵庫医科大学